

ちょう さ よう ぐ じゅん び 調査用具の準備

じゅん び よう ぐ 準備したい用具

- 筆記用具** えんぴつ ゆせい きろくようし
鉛筆、油性ペン、記録用紙、ノート
- 温度計** おんどけい ぼうじょうおんどけい
アルコールの棒状温度計
- タモ網** あみ なが すいせいこんちゅう あみ う さかな と つか
流れてくる水生昆虫を網で受ける。また、魚を捕るときに使う。
網の目は細かいものが良い(1.0mmから1.5mm程度)。
- バケツ** と さかな い つか かわけこ いし い はこ つか
捕った魚を入れるのに使う。また、川底の石を入れて運ぶのに使う。
1グループ2から3個用意する。
- 白いバット** しろ さいしゅ むし わ つか そこ たい しろ ようき よ
採取した虫をより分けるのに使う。底が平らで白い容器であれば良い。
1グループ2から3個用意する。
- ルーペ** やく ばい ばい よ ばいりつ ちい つか よ
(虫眼鏡) 約10倍から20倍のものが良い。倍率は小さくても使いやすいものが良い。
- ピンセット** ちい むし すいせいこんちゅう さき ほそ よ
小さな虫(水生昆虫)をつかむものなので先の細いものが良い。
- ピーカー** みず いろ しろ ととき つか
水の色、においを調べる時などに使う。
- シャーレ** どうめい ひろくち
(透明の広口びん) おな しゆるい すいせいこんちゅう よ わ かず しろ ととき つか
バットから同じ種類の水生昆虫を選び分けて、数を調べる時に使う。
- アクア
スコープ** すいちゅう い もの さが つか
水中の生き物を探すときに使う。

べんり よう ぐ あったほうがより便利な用具

- 標本ビン** ひょうほん すいせいこんちゅう ひょうほん はい こがた ひょうほん
水生昆虫の標本をつくる。ジャムなどが入っていた小型ビンを標本ビン
として利用できる。75%のエタノールを入れます(市販されています)。
- 透視度計** どうし どけい みず どうめい しろ しはん
水の透明さを調べる。市販されていますが、ペットボトルでつくってみよう。
- 糸とテニスボール** いと やく みず なが はや しろ ととき つか いと やく ようい
水の流れの速さを調べる時に使う。糸は約3mのものを用意する。
※20ページ参照
- CODの簡易試験セット** シーデー かんいしけん すいしつけん さ つか しはん
水質検査に使う(市販されています)。※19ページ参照

かわ い もの かわ しら よう く じゅんび
川の生き物や川のようにすを調べる用具を準備しましょう。
 く ふう り よう
工夫するとペットボトルなども利用できます。



てづく どうし どけい 手作り透視度計

(測り方は18ページ)

ようい 【用意するもの】

- 500mlのペットボトル3本(色のついていないもの)
- 水につよ 水に強い紙
- ふた 1個
- 巻き尺
- 水に強いビニールテープ

① 1本は注ぎ口を残し、下の部分を切り取ります。

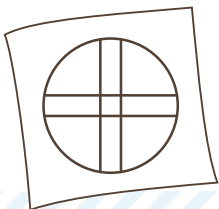
あとの2本は上も下も切って、つつの部分だけを残します。

② 3本をうまく差しこんでつなぎあわせ、ビニールテープで補強します。

みず 水がもれないように何回もまきましよう。

③ 紙を5cm四方に切り取ります。

④ 500円玉をおき油性のペンでふちどります。



⑤ 油性のペンで2重線の十字を書きます。

⑥ ふちどりの線で丸く切り、ふたに、はめます。

おお 大きくて入らないときは少しずつ切って小さくしましょう。

⑦ 巻き尺を切り、つつの外側にビニールテープでとめます。0に合うようにうまくとめてください。

